

## 2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

### 事業の概要

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 水処理能力（日最大） 294,500 m <sup>3</sup> /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 水処理能力（日最大） 52,500 m <sup>3</sup> /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 水処理能力（日最大） 120,750 m <sup>3</sup> /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 水処理能力（日最大） 16,400 m <sup>3</sup> /日	平成9年 4月	高島市

※水処理能力（日最大）は令和3年10月1日現在

### 事業の実施状況

令和3年度上半期の処理水量は83,787千m<sup>3</sup>で、前年度同期に比べ2,137千m<sup>3</sup>、2.6%の増加となりました。

なお、上半期の各処理区の処理水量は、次のとおりです。

（単位：千m<sup>3</sup>）

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
令和2年度上半期	51,692	8,437	18,889	2,632	81,650
令和3年度上半期	53,620	8,598	18,942	2,627	83,787
増減	1,928	161	53	△ 5	2,137

### 建設改良事業の状況

令和3年度上半期は、浄化センターにおける水処理施設の設備改築更新工事および耐震補強工事、流域幹線管渠工事等を前年度に引き続き実施しました。

## 経理の状況

### 予算の補正の状況

令和3年9月定例会議において、施設用地の売却による国補助金等の返還に伴い、土地の評価額に応じた返還額と取得時点の受入額の差額として、事業収益を453千円、事業費用を2,597千円それぞれ増額補正しました。また、国補助金等の返還額として、資本的支出を15,170千円増額補正しました。

### 予算の執行状況

令和3年度上半期の予算の執行状況は、次のとおりです。

#### ●収益的収支

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A)(%)
琵琶湖流域下水道事業収益	20,696,300	453	—	20,696,753	5,081,079	24.6
営業収益	8,714,514	—	—	8,714,514	3,010,579	34.5
営業外収益	11,981,786	—	—	11,981,786	2,070,500	17.3
特別利益	—	453	—	453	—	—
琵琶湖流域下水道事業費用	20,657,800	2,597	—	20,660,397	2,402,026	11.6
営業費用	19,876,621	—	—	19,876,621	2,081,013	10.5
営業外費用	781,179	—	—	781,179	321,013	41.1
特別損失	—	2,597	—	2,597	—	—

#### ●資本的収支

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A)(%)
資本的収入	10,773,500	—	2,587,489	13,360,989	497,000	3.7
企業債	3,058,100	—	685,900	3,744,000	497,000	13.3
出資金	781,296	—	—	781,296	—	—
補助金	5,084,918	—	1,901,589	6,986,507	—	—
負担金	1,849,186	—	—	1,849,186	—	—
資本的支出	14,287,700	15,170	4,245,603	18,548,473	2,799,674	15.1
建設改良費	9,149,860	—	4,245,603	13,395,463	591,789	4.4
企業債償還金	3,935,163	—	—	3,935,163	2,207,885	56.1
返還金	1,202,677	15,170	—	1,217,847	—	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

また、以上の予算執行の状況を企業会計原則に従って合計残高試算表にしますと、令和3年9月30日現在では次のとおりです。

●合計残高試算表（令和3年9月30日現在）

（単位：千円）

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
276,821,569	320,642,151	〔資産の部〕	43,820,582	
272,515,296	297,484,278	固 定 資 産	24,968,982	
4,306,273	23,157,873	流 動 資 産	18,851,600	
	29,370,333	〔負債の部〕	284,427,484	255,057,151
	497,000	固 定 負 債	46,177,793	45,680,793
	8,332,592	流 動 負 債	11,246,390	2,913,798
	20,540,741	繰 延 収 益	227,003,301	206,462,560
		〔資本の部〕	19,085,366	19,085,366
		資 本 金	1,922,412	1,922,412
		剰 余 金	17,162,954	17,162,954
	267,908	〔収益の部〕	5,348,987	5,081,079
	267,908	営 業 収 益	3,278,487	3,010,579
		営 業 外 収 益	2,070,500	2,070,500
2,402,027	2,402,234	〔費用の部〕	207	
2,081,013	2,081,220	営 業 費 用	207	
321,014	321,014	営 業 外 費 用		
279,223,596	352,682,626	合 計	352,682,626	279,223,596

企業債の状況

令和3年9月30日現在の企業債の現在高は46,464,637千円です。

